

2022年
第60回
記念

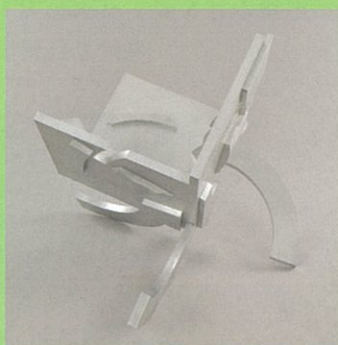
日本現代工芸美術展 新潟巡回展



会長 大樋 年朗



理事長 奥田 小由女



副理事長 春山 文典



常務理事 宮田 亮平



顧問 原 益夫



理事 西片 正

会期：令和4年7月2日(土)～7月10日(日)

午前9時半～午後6時

※7月4日(月)休館 初日は午後12時開場、最終日午後2時迄

特別展示 現代に引き継がれる伝統技法

会場：新潟市歴史博物館・みなとぴあ **入場無料**

〒951-8013 新潟県新潟市中央区柳島町2-10 tel. 025-225-6111

主催：(一社)現代工芸美術家協会・新潟日報社・現代工芸新潟会

後援：新潟県・新潟市・NHK新潟放送局・BSN新潟放送・NST新潟総合テレビ

TeNYテレビ新潟・UX新潟テレビ21・新潟日報美術振興財団・三條新聞社

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来場の際にはマスクの着用、手指の消毒、検温等にご協力をおねがいたします。

第60回記念日本現代工芸美術展 新潟巡回展のご挨拶

日本現代工芸美術展は1961年に創設の(一社)現代工芸美術家協会が主催し、毎年春に東京都美術館で開催の全国公募の工芸美術展です。協会を代表する、大樋年朗会長(陶)・奥田小由女理事長(人形)は文化勲章受章した日本芸術院会員。5人の日本芸術院会員作品、6人の日本芸術院賞受賞者作品と、文部科学大臣賞をはじめ公募受賞作品の、本展展示総数533点。その中から、みなとぴあでの展示は87点(巡回基本作品69点・新潟の18点)の観展です。また、新潟での巡回展開催は8年ぶり12回目となります。

東京都美術館での本展開催後、全国7地区で巡回展が開催されます。立体と平面作品の構成ですが、工芸素材ジャンルも、陶磁・人形・金属・漆・染織・七宝・硝子・革・竹籐・木・パッチワークと多彩です。今回の公募での現代工芸大賞受賞者は28歳、現代工芸特別賞者はイタリアからの応募です。台湾からの出品もあり、次世代作家の育成にも務め、国際的な関わりも祈念しながら、未来に繋げる役割も担います。

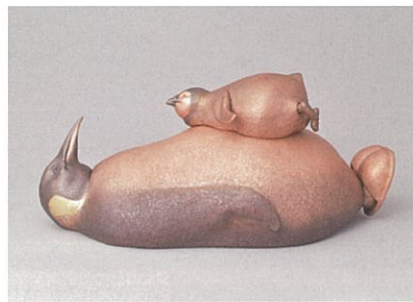
厳しい社会情勢の続く中ではありますが、より多くの方々からご高覧を賜ります様お願い申し上げます。そして、今回の巡回展が新潟での文化芸術の振興や心豊かな生活の一助となりましたら幸いです。

本展開催にあたりご支援ご協力頂きました新潟県・新潟市はじめ関係各位に深甚なる感謝の意を表する次第です。

現代工芸新潟会



60周年本会員記念賞 島山 マリ子



現代工芸賞 平戸 亜海



七宝 石山 悦子



竹籐 本間 秀昭



金属 高橋 純一



陶磁 眞島 美代子



染織 五十嵐 まさみ



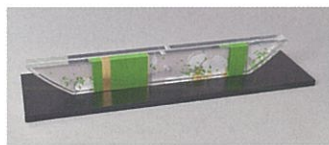
染織 渡邊 久意



革 小澤 正勝



金属 鬼木 英幸



刺繍 風間 美代子



竹籐 本間 浩一



金属 河合 孝



染織 山崎 恵



陶磁 安原 のり子



陶磁 松永 明



陶磁 齋藤 麻里



陶磁 大嶋 早苗



染織 宮嶋 美恵子